

第 119 回 埼玉県内企業経営動向調査－2022 年 4～6 月期－

調査対象：県内企業 534 社 調査方法（期間）：アンケート方式（4 月 18 日～5 月 30 日）
 回答企業：177 社（回答率 33.1%） 業種別内訳：製造業 102 社 非製造業 75 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2022 年 2 月 22 日	114.70	26,449.61
(今回) 2022 年 5 月 30 日	127.02	27,369.43

概況

埼玉県内企業の業況感（全産業）は、大幅に悪化している。

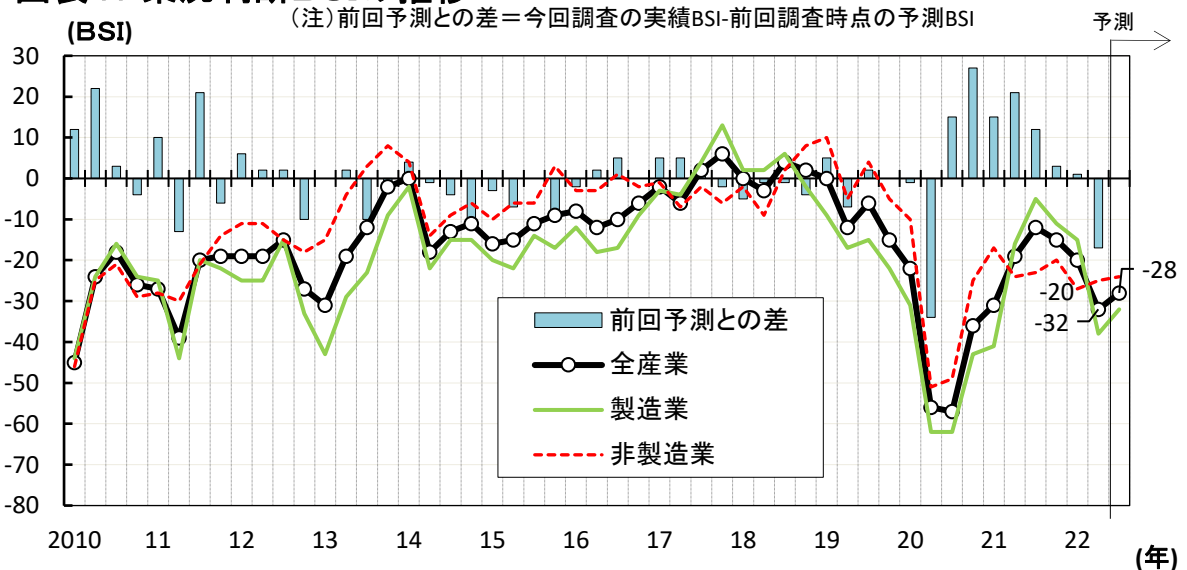
今回調査（2022 年 4～6 月期）の業況判断 BSI は-32 と、前回 1～3 月期調査（-20）比マイナス幅が 12 ポイント拡大しており、3 期連続の悪化となっている。

業種別にみると、製造業では、幅広い業種において、資源価格の高騰や為替の円安化に伴う原材料・仕入価格の上昇、半導体関連等の各種部品調達難の影響による減産などから業況感が大幅に悪化した。非製造業では、全体としてはほぼ横這いの動きであり、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、停滞している（製造業：前回-15 → 今回-38、非製造業：前回-27 → 今回-25）。

先行き（2022 年 7～9 月期）については、-28 とマイナス幅が小幅縮小するが、回復は鈍い見通し。

製造業、非製造業とも、為替の動向、地政学リスクの顕在化に伴う原油をはじめとする資源価格の動向、海外を含めた新型コロナウイルス感染症の影響、部材の供給制約の今後の動向について不透明感を指摘する先が多い（製造業：今回-38 → 先行き-32、非製造業：今回-25 → 先行き-24）。

図表 1. 業況判断 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」)

埼玉県内企業の業況感 (全産業) は、大幅に悪化している。

今回調査 (2022 年 4~6 月期) の業況判断 BSI は-32 と、前回 1~3 月期調査 (-20) 比マイナス幅が 12 ㊦拡大しており、3 期連続の悪化となっている。

業種別にみると、製造業では、幅広い業種において、資源価格の高騰や為替の円安化に伴う原材料・仕入価格の上昇、半導体関連等の各種部品調達難の影響による減産などから業況感が大幅に悪化した。非製造業では、全体としてはほぼ横這いの動きながら新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、停滞している (製造業: 前回-15 → 今回-38、非製造業: 前回-27 → 今回-25)。

図表 2. 規模別・業種別業況判断 BSI

	2020年	2021年				2022年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		7~9月 (先行き)
						前回予測	今回		
全産業	-36	-31	-19	-12	-15	-20	-15	-32	-28
規模の小さい企業(100人未満)	-41	-34	-28	-14	-15	-19	-21	-34	-32
規模の大きい企業(100人以上)	-30	-27	-10	-11	-15	-21	-9	-31	-25
製造業	-43	-41	-16	-5	-11	-15	-11	-38	-32
規模の小さい企業(100人未満)	-46	-47	-26	-13	-18	-22	-19	-42	-35
規模の大きい企業(100人以上)	-40	-35	-4	4	-2	-6	-2	-32	-27
素材型	-40	-42	-14	-10	-5	-13	-13	-33	-22
紙加工品等	-36	-55	0	-20	-30	-27	0	-27	-9
化学・プラスチック・ゴム製品	-8	-33	43	9	44	22	-11	-33	-22
鉄鋼・非鉄金属	-78	-40	-30	-11	-22	0	-10	-38	-25
金属製品	-67	-43	-29	0	43	0	0	17	-17
その他素材型	-30	-40	-40	-27	-44	-63	-50	-64	-36
加工組立型	-49	-38	-22	11	-7	-7	0	-41	-32
一般機械器具	-64	-60	-8	15	42	9	27	-33	-33
電気・情報通信機械器具	-62	-60	-42	-9	-40	-17	-8	-60	-30
電子部品・デバイス	-11	11	9	20	0	0	-11	0	-10
輸送機械	-75	-75	-57	13	-50	-33	-17	-75	-38
精密機械	-17	20	-25	20	0	0	0	-50	-75
生活関連型	-43	-58	-17	-27	-38	-29	-29	-30	-60
飲・食料品	-14	-43	0	0	-14	-22	-11	-17	-50
印刷・同関連業	-71	-80	-50	-80	-67	-40	-60	-50	-75
その他製造業	-25	-20	33	-50	-50	-60	-40	-60	-60
非製造業	-25	-17	-24	-23	-20	-27	-21	-25	-24
規模の小さい企業(100人未満)	-31	-16	-30	-16	-10	-14	-25	-20	-26
規模の大きい企業(100人以上)	-18	-19	-18	-29	-29	-38	-17	-30	-23
一般建設	0	6	-14	-6	0	6	-13	-7	7
住宅建設	0	-25	-25	-67	-25	-50	0	0	0
卸 売	-46	-29	-25	-25	-14	-36	-36	-17	-25
小 売	0	-5	-42	-44	-44	-47	-35	-50	-50
運輸・倉庫	-63	-45	-38	-50	-45	-50	-25	-30	-20
不動産	-43	0	20	13	0	20	0	-17	-33
その他非製造業	-33	-33	-14	-7	-6	-23	-8	-31	-31

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～全産業では、「減少」超幅が縮小～

製造業では、素材型で紙加工品、化学・プラスチック・ゴム製品で「増加」超に転じたことから、「減少」超幅が縮小した。非製造業では、小売で「減少」超幅が拡大する一方、卸売で「減少」超幅が縮小したことや、運輸・倉庫で「増加」超に転じたことから、「減少」超幅が小幅に縮小した。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	7	-18	-11	-1
製造業	5	-22	-10	-4
非製造業	11	-13	-12	4
規模の小さい企業	6	-14	-14	-5
規模の大きい企業	9	-22	-7	5

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業・非製造業とも「減少」超幅が拡大～

仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁し難い状況下、製造業では、素材型、加工組立型で「減少」超幅が拡大している。非製造業では、住宅建設、不動産で「減少」超に転じたほか、一般建設、小売で「減少」超幅が拡大した。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	0	-22	-32	-18
製造業	-1	-26	-34	-20
非製造業	1	-15	-28	-17
規模の小さい企業	-5	-22	-30	-24
規模の大きい企業	6	-21	-34	-12

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～全産業で「減少」超幅が縮小～

製造業では、素材型、加工組立型で「減少」超幅が縮小した。非製造業では、「増加」超幅が縮小した。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-2	-7	-3	-2
製造業	-2	-11	-5	-2
非製造業	-2	3	0	-3
規模の小さい企業	-5	-10	-7	-6
規模の大きい企業	0	-3	2	2

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～全産業では「不足」超幅が拡大～

製造業では、素材型、加工組立型で「不足」超に転じた。非製造業では、一般建設で「過剰」超に転じ、「不足」超幅が縮小。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-3	-2	-6	-8
製造業	-2	2	-8	-9
非製造業	-4	-7	-3	-6
規模の小さい企業	-3	2	-2	-6
規模の大きい企業	-2	-6	-11	-11

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～全産業で「不足」超幅が小幅縮小～

製造業では、総じて横這い圏内の動き。一方、非製造業では、一般建設、小売で「不足」超幅が縮小した。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	-26	-28	-25	-24
製造業	-16	-17	-15	-12
非製造業	-38	-44	-38	-41
規模の小さい企業	-24	-25	-19	-22
規模の大きい企業	-28	-32	-31	-28

7. 資金繰り BSI（「楽である」－「苦しい」） ～全産業で「楽である」超を維持～

製造業、非製造業ともに「楽である」超を維持。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 21年10～12月期	(前回調査) 22年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全産業	8	5	6	5
製造業	10	8	8	9
非製造業	5	3	3	0
規模の小さい企業	4	3	1	1
規模の大きい企業	12	8	11	10

以上